

災害対策 小型ヘリ

坂東市は、災害時の市内の状況を迅速に把握するため、無線で操縦するカメラ付き小型ヘリ「マルチコプター」2

台を導入した。14日、市職員らが、市内などの愛好家で作る「坂東ラジコンクラブ」の会員から操作方法の指導を受



離陸した「マルチコプター」。下部に付けたカメラで街の様子を上空から撮影できる

坂東市2台導入

人が立ち入るのが難しい場所や広範囲での撮影に適しており、台風や大地震、水害などの際、人命救助や復旧のため被災地域を素早く把握して対応するのが狙い。充電式で約10分間連続飛行でき、無線操縦により上空から街の状況を空撮する。費用は2台で計約170万円。

吉原英一市長は「情報収集の大きな力。地域の安心につながるように活用したい」と話し、クラブの石川清司会長は「（マルチコプターには）あらゆる通信機器の技術が結集しており、様々な使い方ができると思う」と話していた。